

東宝見聞録

韓国短期派遣報告



(後編)



滞在3日目(月曜日)は、いよいよ姉妹校の金海伽耶高校訪問である。釜山市から金海市まで車で移動の際目にした住宅の風景は、かなり日本と違う。伽耶

高校では職員室へ案内され、先生方に挨拶をした後、昨日面倒をみてくれた生徒達の案内による各クラスでの体験授業であった。授業の様子を見学して回ったが、どのクラスも男女別の授業をしていたのには驚いた。時々居眠りをしている生徒の姿も見られたが、多くのクラスでは講義形式ではなく対話形式の授業が進められており、教育にもアメリカの影響を感じた。教室に入ると歓声があがり皆カメラにポーズをしてくれた。東高校の生徒達も机を並べ必死に韓国語の授業を理解しようとしているようだった。



韓国では昼食は中学校まで無料給食が支給され、高校でも安い給食が食べられるという。生徒達も我々も食堂で給食をごちそうになった。給食形式の韓国料理は微妙な味のものもあったが、なかなかの料理であった。生徒達は部活動まで見学したり体験し帰途についた。さすがに皆疲れたようである。

滞在4日目は、午前中伽耶高校で授業を体験した後市内見学に出かけた。近日オープン予定の伽耶国の歴史テーマパークを市長のはからいで特別に入園させてもらった。紀元500年頃建国され日本へも影響を与えた伽耶の国の歴史を、広大な敷地の中の様々な施設で楽しみながら学ぶことができた。快晴の青空の下かなりの距離を歩いて見学したが、木陰に入ると湿度が低く涼しく、日本との気候の違いを感じた。



夕食を取った後、近くのスーパーでお土産を探した。買い物の時間がほとんどなく、どの生徒も明日の帰国を前に必死でお土産を選んでいた。ホテルに帰ると皆大変な荷物であった。

最終日、釜山港からいよいよ帰国である。世話をしてくれた金(キム)先生と校長先生が見送りに来てくれた。短い滞在であったが本当に温かい歓迎をもらっ



た気がする。政治の世界では殺伐とした日韓関係だが、地元の人々のなんと親切だったことか。見送りの先生方に感謝しながらフェリーに乗り込んだ。

た気がする。政治の世界では殺伐とした日韓関係だが、地元の人々のなんと親切だったことか。見送りの先生方に感謝しながらフェリーに乗り込んだ。

後輩へのメッセージ!

～教育実習を終えた本校OG 栗屋さんからのコメント～

先生方、生徒の皆さん。3週間という短い間でしたが、ありがとうございました。私が東高校に在学していた頃は、教育実習生として生徒の皆さんの前で教壇に立つということなど思いもしていませんでした。

私は小さい頃から踊ることが大好きで、高校卒業したらダンスの道へ行くことしか考えていませんでしたが、高校3年生の時にダンスの指導で来てくださった日本女子体育大学の先輩に出会い、大学生活などのお話をお聞きし、もっとダンスを専門的に学びたいという気持ちが強く芽生え大学に行くことを決めました。日女に行くこと決めて、AO入試に挑戦したのですが、落ちてしまいました。学校で人の目気にせず大泣きしても無理かと思い諦めようとしたのですが、どうしても日女に行きたかったので、諦めずに学校の先生をはじめ外部のダンスの先生に学び、一般推薦入試に挑戦しました。そして日女に合格することができました。日女では、モダンダンス・クラシックバレエ・ジャズ・ジャズファンク・日本舞踊・スペイン舞踊・コンテンポラリーダンス・タップ・ストリートダンス・ダンスの歴史や舞台を上演する時どのようにしたらよいかなどの舞台構成(舞台上演法)、ダンス以外で機能解剖学、スポーツ心理学、栄養学など様々な分野を学びました。私はモダンダンス部に所属しており、その部活は上下関係がとて厳しく言葉使いや先輩に対する態度などを一から叩き込まれました。そして、こうやって今母校に教育実習生として帰り、皆さんに出会えました。



“今でしょ”、この言葉を皆さんご存知ですか?“今”という言葉は英語にしたら、このような意味があります。“the present”、この言葉をこのように考えます。「未来の自分へのプレゼント」

何かに挑戦し、負けてもいいんです。負けて学ぶ事はたくさんあります。その負けた事をどう活かし、どう行動するかが大切です。努力をすることによってすぐには答えが出ないかもしれないけれど、いつかその努力したことが報われる時が絶対にきます。だから今「未来の自分へのプレゼント」の為に、努力する事を惜しまないで下さい。私も“今



でしょ”を実行して努力していきたいと思っています。

皆さんと出会えた事が私にとって大切な宝物になりました。ありがとうございました。みんな!がんばれ!!